

こみねつと

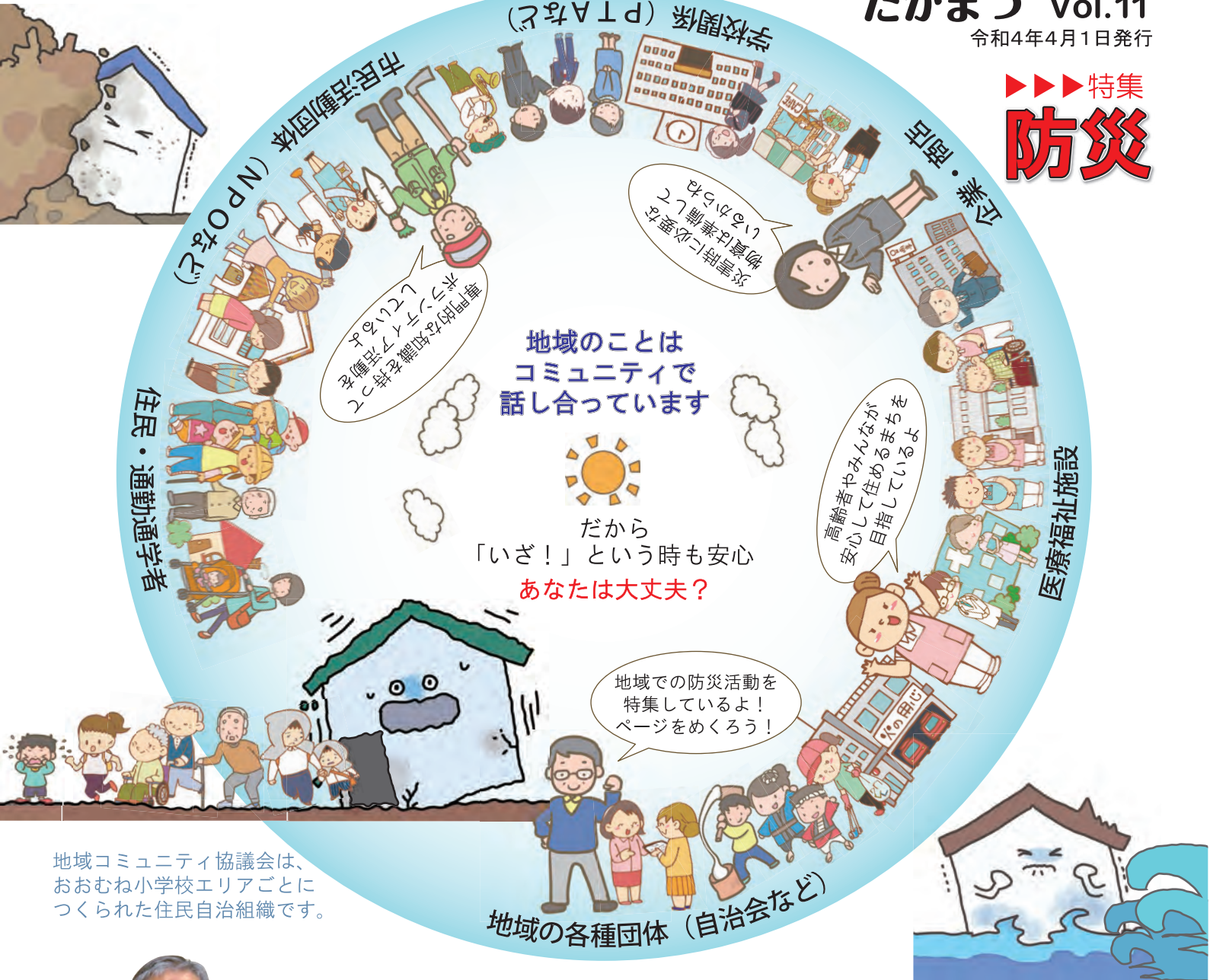
地域コミュニティ協議会では、地域で暮らす人や活動している団体など、様々な人が関わり地域活動を行っています。あらゆる自然災害が起きている今、地域でも防災意識が高まっています。災害が起こった時、あなたは自分や家族、自分のまちを守ることができますか？

高松 たかまつ

Vol.11

令和4年4月1日発行

▶▶▶特集 防災



地域コミュニティ協議会は、おおむね小学校エリアごとにつくられた住民自治組織です。



(一社) 高松市コミュニティ連合会
会長 角田 朝則

頻発する地震や毎年のように起こる豪雨災害。私たちは自然災害の恐ろしさを以前より実感していませんか。災害は、いつ起こるかわからず予測のできないもの。だからこそ常日頃からの備えが必要です。

地域コミュニティ協議会では、防災訓練や日々の声かけなどを通して、「いざ」という時、地域の方々が安全に避難できる方法を模索し、活動しています。

今回の特集では、地域における防災の様々な取り組みや活動を紹介しています。皆さんが防災について改めて考え、「備えの第一歩」となれば幸いです。

あなたの避難「大丈夫？」

大切なのは、「普段からの防災」と

“いざという時の減災”です。

知っている安心！「地域防災マップ」

国分寺南部

令和3年3月に国分寺南部校区の防災マップが完成し、校区内全戸に配布しました。当初は5月の連合自治会総会時に内容を紹介します予定でしたが、コロナ禍で総会は中止となったため、要請のあった自治会に出向いて個別説明会を実施しました。

説明会では、地区防災士の方が「南海トラフ地震が発生したら？」「ため池の堤防が決壊したら？」「最適な避難方法は？」などをテーマに話をしてくれました。また、耕作放棄地が増える中、大雨や台風の際の被害軽減のため、ため池の貯水量を最小限に調整する工夫も紹介いただきました。

この防災マップを活用し、地形や道路など地域の特性を知り、地図裏面の記載データ・避難用具・避難箇所等をしっかりと確認しておくことが大切です。

防災マップを作成したら終わりではなくスタートであること、今後も継続し学んでいくことが大事だと実感しています。



防災に大切な“わがこと”と、普段のおつきあい

木太

木太地区では平成24年より小学校と連携した防災訓練を毎年6月に実施しています。令和3年度は地区自主防災会が中心となって小学生たちに防災ビデオ講習会を行いました。

講習会では、平成16年の高潮被害の様子と被災後の防災ボランティアの活動について、また、令和2年度に改定した『木太町防災マップ』の有効な使い方を説明しました。当時はまだ生まれていなかった子どもたちが、「自分の住んでいる町で大きな災害があったことに驚いた」、「家に帰って家族と避難について話し合いたい」と、災害避難についてわがこと（我が事）のように興味を持っていたのが印象的でした。

また令和3年度からは、普段からの絆づくりが避難行動には大切として、避難行動要支援者名簿の効果的な活用を自治会・民生委員を中心に進めています。これからも木太地区では子どもから大人まで地域防災について関心のある地区を目指して活動していきます。



コロナ禍での自主防災Web研修会

花園

花園地区自主防災連合会では、コロナ禍で多くの行事が中止となる中、災害・防災に対するアンケートを実施し、住民の意識調査を行いました。調査結果は、令和3年11月配布の『花園コミュニティだより』に2ページにわたり掲載し、全戸配布しました。

また、調査結果を基に単位自治会長、防災担当者を対象に、コミュニティセンター内で3会場に分散し、初の試みのWebで研修をしました。

自主防災連合会役員がアンケートの分析報告、全国との比較、関連情報の説明、Webでの質疑応答など、コロナ禍における新たな研修会が出来ました。

今回のアンケート結果を通じて住民の防災意識や、地域が災害時に犠牲者を出さないためにはどうすれば良いのか、命を守るための地域共生の仕組み作りなど、今後の自主防災活動につなげる大事な研修会になりました。



要支援者を対象とした防災訓練

日新

令和3年度はコロナ禍で行事の中止が相次ぐ中、防災訓練も地区全体での開催を見送ることとなり、各自治会単位で個別に実施しました。

浜ノ町西部自治会では、香川大学の岩原教授にご指導をいただき、高松市の災害時避難行動要支援者名簿に登録している要支援者を一時避難場所に誘導する訓練を行いました。また、日新地区社会福祉協議会からリヤカーを寄贈していただいたので、要支援者を乗せて避難場所まで運ぶ訓練も同時に実施しました。初めて行う訓練でしたが、終了後には行政の方からも「珍しい良い訓練だ」という声もいただきました。

今回は単位自治会での訓練を行いました。いつ起こるか分からない災害に備えて、今後は地区全体でこのような訓練が実施できればと考えています。災害時に弱者となりうる要支援者を取り残さない地区を目指して、これからも訓練を重ねていきます。



高松市危機管理課からの情報 「感染症のリスクを避ける!! 分散避難」

「避難」とは、「難」を“避ける”こと、つまり、安全を確保することです。感染を避けるため、指定の避難所に限らず、親類・知人宅やホテルなどへの避難や、自宅が安全な場合は在宅避難も考えてください。避難先については複数の選択肢を持つことが大切です。



高松市の防災情報
ホームページ「もっと高松」
『たかまつ防災マップ』



日頃から、ハザードマップなどを参考に、自分や家族が住んでいる地域や職場、よく行く場所などに、どんな災害リスクがあるか、しっかりと確認しておきましょう。

川岡の今も未来も、みんなで守る!

川岡

川岡地区でも、「うちは大丈夫。大きな災害とは無縁」と、まだまだ防災意識に甘えがあります。そこで、コミュニティ協議会では、令和元年7月から順に単位自治会の集会場に出向き、防災対策の必要性や避難方法の確認を行っています。また、緊急連絡先等を記入する防災カードと防災ホイッスルを配布して活用方法を説明し、防災意識の向上を図っています。

令和3年には「コミュニティと防災の拠点」が完成しました。広い敷地を活かして、バリアフリー環境を整備した新しいコミュニティセンターと大型倉庫、新しい消防屯所を集約し、大規模災害に備える準備が整いました。

消防屯所のシャッターには、小学生から募集した絵を描き、視覚で訴えて子どもたちにも防火や防災の意識を持ってもらい「地域で減災」できるまちづくりを図ります。



受賞おめでとうございます

令和3年度

自治会加入促進作品 入賞者

今年も、地域のつながりの大切さを感じられる力作が多く集まりました。ご応募ありがとうございました。

ポスターの部 [小学生以下の部]

最優秀賞 宮脇 小榛 (太田南地区)

優秀賞 宮脇 侑誠 (太田南地区)

門田 佳子 (多肥地区)

[大人の部 (中高生含む)]

優秀賞 滝本 遙 (太田南地区)

標語の部

最優秀賞 平尾 高王 (浅野校区)

優秀賞 濱中 一穂 (新塩屋町地区)

まさどん※ (新塩屋町地区)

浜ちゃん※ (二番丁地区)

いそっち※ (太田南地区)

中井 優人 (多肥地区)

原渕 如姫 (多肥地区)

(※はペンネーム)

令和3年度

高松市長感謝状及び

一般社団法人高松市コミュニティ連合会表彰

多年にわたり地域活動に携わり、その功績が顕著な個人82名の方々と2団体に対して、令和4年2月に高松市長感謝状等が贈呈されました。

この顕彰が、地域活動に携わる方の励みになり、また、住民の方々が地域活動に目を向ける契機になることを期待するところです。

受賞されました皆様におかれましては、誠におめでとうございます。今後とも、地域のリーダーとして更なるご活躍を祈念申し上げます。

令和3年度

全国公民館インターネット活用コンクール

インターネットを活用して事業を展開する等、優秀な活動をしている公民館が、全国公民館連合会から表彰されました。

奨励賞 多肥コミュニティセンター



「いざ!」という時こそ、顔の見えるご近所さん



~自治会に入っていますか?~



大きな災害が起こった時、人はひとりでは対応できません。そんな時、頼りになるのが普段から交流のある地域の方々です。地域活動に積極的に参加することで、地域の人たちを知り、そして自分を知ってもらうことができます。自治会に入って、ご近所のつながりをつくっておくと更に安心ですね。



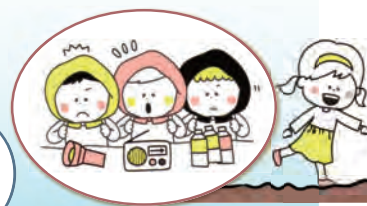
災害時の自治会パワー

災害時に行政からの情報がスムーズに手に入ります。

自治会で防災訓練や危険箇所の確認をしておくことで、安心して避難することができます。

会員用の防災グッズを備えている自治会もあります。

不安の中で声をかけ合える。何よりも、それが安心!!



学びの場・交流の場 コミュニティセンター

コミュニティセンター、通称「コミセン」では、様々な講座や同好会活動などが行われており、地域の誰もが気軽に利用できるスポットです。さあ、近くのコミセンに出かけてみませんか?

※市役所の総合センター・支所・出張所を併設している施設もあります。



コミセン一覧

▶開館時間 ・月～土曜…9:00～21:00

(土曜日は17時以降の利用予約がない場合は閉館になります)

・日曜…9:00～17:00

▶休館日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日

・8月13日～15日、12月29日～1月3日

(イベント等で休館日に開館したときは、翌日が臨時休館日となる場合があります)

※赤字が令和4年度から変更になる箇所です

コミュニティセンターでは新型コロナウイルス感染症の様々な対策を実施しています。

